

平成28年度

学校関係者評価報告書

学校法人浅井学園

北海道ドレスメーカー学院

平成29年5月12日

平成28年度 学校関係者評価報告書

学校関係者評価委員会を平成29年3月に実施致しました。自己点検評価委員会が作成した、平成28年度自己評価を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 平成28年度学校関係者委員会

<学校関係者評価委員>

- ・荒井 三明 様 (有限会社スージーパーカー代表取締役) : 企業等役員
- ・工藤 知徳 様 (有限会社東陽商事営業企画チーフ) : 卒業生
- ・大関 慎 様 (学校法人浅井学園北翔大学短期大学部学科長) : 教育関係者
- ・谷川 幸雄 様 (NPO 法人地域対話士協会理事長) : 教育関係者

<学校側参加者>

- ・浅井 洋子 (北海道ドレスメーカー学院院長)
- ・浅井 学 (北海道ドレスメーカー学院副院長・事務長)
- ・川村 明美 (北海道ドレスメーカー学院副院長)

2. 評価項目ごとの学校関係者評価・意見

基準1：教育理念・目的・育成人材像等	教育理念、目的は適正に定められている。 育成人材像は適正に定められている。
基準2：学校運営	目的等に沿った運営方針は策定されている。また、運営方針に沿った事業計画も組織的で有効に機能するよう規程等に定められており、明確化されている。その他規程等も整備され、情報公開も適切に行われている。
基準3：教育活動	【提案】 カリキュラムの各科目については、個々の教員（非常勤含む）が作成していることから、書式の統一化はなされていない。書式を統一し、見やすく改善した方が良い。 【回答】 カリキュラムが全体的に把握しやすくなるよう改善したい。 【その他】 学生アンケート集計、産学連携によるインターンシップ等カリキュラムを評価しながら組織的に組み込み、実施する体制はおおむね行われている。また、教員に対する研修も計画通り行われている。
基準4：学修成果	【提案】 退学率減少等を目指し、在校生の保護者に対してもっと説明会を行ってもよいのではないかと。また、指導要綱のようなものを作成してはどうか。

	<p>【回答】在校生の保護者に対しては、成績表送付等でお知らせは行っているが、説明会の回数は少ない。本学院イベント参加の呼び掛けを行っているので、その際に説明会を行う等対応を検討する。</p> <p>【提案】退学率の低減を目指し、指導要綱のようなものを作成した方が良い。要項に沿って運用を行い、退学理由の分析等に生かすようにしてはどうか。</p> <p>【回答】学生が退学に至るまでに、幾つかの兆候がみられる。これらを組織的に把握できる仕組み作りを検討したい。</p> <p>【提案】卒業生調査が弱い。卒業生アンケートがあった方が良い。また、卒業生のその後の進路を追う仕組みを作った方が良い（卒業生懇話会の開催、同窓会会報作成等）。</p> <p>【回答】卒業後の経年調査は行っていない。経年調査については、今後の検討課題としたい。</p>
基準5：学生支援	<p>【提案】学生相談はクラス担任が行っているが、担任が対応出来ないケースが出てきている。その際のカウンセリングを組織的に対応できる仕組みが必要なのではないか。</p> <p>【回答】学生の相談内容は多岐にわたる。担任が対応できないケースについては、教務委員会で内容の整理を行っている。学生カウンセリングが行える環境が整えられるか検討をしたい。</p> <p>【その他】学生の経済的支援、課外活動、保護者連携、卒業生支援体制については、整備されている。社会ニーズを踏まえた教育環境も整備されている。高等学校等との連携については、取り組まれている。</p>
基準6：教育環境	教育環境については、必要な施設・設備が整備されている。
基準7：学生の募集と受け入れ	学生募集と受け入れについては、適正に行われている。
基準8：財務	財務については、適正に行われている。
基準9：法令等の遵守	法令等の遵守については、適正に行われている。
基準10：社会貢献	社会貢献については、適正に行われている。